

4. 地域の自然・文化環境と文化資源の活用を学ぶ(10単位)

(1) プログラムの目的

子どもをとりまく自然・文化環境に対する学問的で多角的なまなざしと、地域の文化資源を活用する上での課題と方法を学ぶことを目的としている。受講生は、考古学、歴史学、日本文学、アメリカ文学、地理学、文化人類学、アーカイブズ学、社会学、経済学を専門とする担当教員の多様な授業を通して自然・文化環境に対する学問的なまなざしや思考法を学び、文化資源の活用について取り扱う演習を通じて、地域課題に即して主体的で実践的な態度を身につけることができる。

(2) プログラムの学修到達目標

- ①文化資源の活用の取り組みについて、具体的な事例を挙げて説明することができる。
- ②地域の自然・文化環境について人文社会科学諸分野の手法を用いて調査・分析することができる。
- ③文化資源を活用する上での課題と方法について発表することができる。
- ④文化資源活用の場に自らの役割を持って、主体的に参画することができる。
- ⑤文化資源の活用方法について他者と議論し、合意を形成することができる。

(3) 履修資格

令和6年度以降に入学した者

(4) 履修手続

本プログラムを履修する者(以下、「履修者」という。)は、次の各号の申請・提出により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラムの履修申請
- 二 その他本学が必要と認める書類

(5) 修了要件

次の要件を全て満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 下記履修表により履修し、講義科目8単位以上、演習科目2単位以上、計10単位以上を修得すること。

(6) 履修証明書交付要件

次の要件を全て満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 選択科目のうち演習科目を2単位修得済み、または履修中であること。
- 三 選択科目のうち講義科目を8単位修得済み、または履修中であること。

(7) 構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択		
専門教育科目	演習科目	文化財保存活用演習	2	/	2	
		地域資料総合演習	2			
		日本古典籍基礎演習	2			
		アメリカ文学応用演習I	2			
	講義科目	考古学概論I	2		/	8
		現代史概説	2			
		歴史地理学	2			
		文化人類学入門	2			
		アーカイブズ学概論	2			
		社会調査 I	2			
		地域経済各論	2			
		経済統計処理論	2			
	合 計				10	